

議会だより たからほ

NO.84



ありがとう…68年の歴史に幕
最後の花輪体操（岩戸中）

決算審査に 219 件の質疑 (P2)
ど～する!! どげなる? 総括質疑 (P4)
町政の成果は… 一般質問 (P12)



おめでとう! 創立 140 周年
みんなで祝ったよ! (押方小)

2014年10月23日発行
宮崎県高千穂町議会

平成25年度を振り返り ～ 219 件の質疑と提言～

平成25年度 会計別決算状況

〔万円未満：四捨五入〕

会 計 名			歳入総額	歳出総額	翌年度繰越額	収入未済額
一般会計			83億0901万円	79億9665万円	3億1237万円	1億0599万円
特別会計	国民健康保険		20億5463万円	20億0712万円	4751万円	4996万円
	簡易水道事業		6460万円	6116万円	344万円	3万円
	下水道事業		1億8760万円	1億8065万円	695万円	1010万円
	西臼杵地域 介護認定審査会		890万円	800万円	90万円	0万円
	介護保険 (事業勘定)		13億2257万円	12億7084万円	5173万円	380万円
	介護保険 (サービス事業勘定)		6262万円	5958万円	303万円	0万円
	後期高齢者医療		1億6177万円	1億6156万円	22万円	120万円
企業会計	病院事業 (税抜き)	収益的	19億7740万円	20億0240万円	2501万円の赤字	1590万円
		資本的	362万円	1億7676万円		
	水道事業 (税抜き)	収益的	1億4607万円	1億2963万円	1644万円の黒字	1139万円
		資本的	0万円	4589万円		

着眼点と意見

最小の経費で最大の効果を挙げる予算執行がされているか・予算審議の趣旨が十分いかされたか・住民本位の予算執行かなどに着眼し、真剣かつ慎重に審査し219件の質疑ができました。

財源確保のため町税などの収納率向上や、職員の研修を進め人材育成の強化と、町民福祉の向上に特段の努力を要望し、平成25年度一般会計決算については、全員賛成で認定しました。

こんなことを要望 決算審査の付帯意見

【農林振興課】
①補助事業が多岐にわたリ交付されているが、内容を周知し最良の事業となるよう効果検証すること。
②有害獣駆除対策については、引き続き広域的かつ有効的に取り組むこと。

【農地整備課】
国・県の有利な事業を確保し、集落の活性化に向け農地保全に努めること。

【建設課】
①町道の単独改良に良く取り組んでいるが、今後
②町有財産の売却については、詳細が分かるよう管理すること。

【財政課】
①基金の積み立ては大変重要であるが、地方債などのバランスを考え予算活用すること。
②町有財産の売却については、詳細が分かるよう管理すること。

普通交付税が減額

今定例会では、本年度一般会計補正予算・条例の制定及び平成25年度各会計10件の決算など全25議案を慎重審議し、全議案原案通りに全会一致で可決・承認しました。

一般会計補正額は1億8921万円の追加。
歳入の主なもの、普通交付税が1億1700万円の減額。
歳出は災害復旧費・営

農飲雑施設工事費などの増額。
歳入歳出の不足額の1億4280万円を財政調整基金から繰り入れます。
予算総額は、81億1994万円になります。

※財政調整基金
計画的な財政運営を行うために積み立てている貯金のこと

農業委員を承認 臨時議会

7月14日臨時議会を開会し、農業委員会の法律による推薦枠（6委員）の内3委員を議会推薦としました。

国・県の指導があり、女性を優先して選考し全会一致で承認しました。
女性パワーの活躍に期待します。

任期は平成26年7月20日から平成29年7月19日までの3年間です。



藤野智子氏 (三田井北) 担当地区 三田井北・町区
坂本浩子氏 (上川登) 担当地区 上川登・大野原
工藤寿子氏 (日向) 担当地区 東岸寺・日向

固定資産評価員を承認

任期満了に伴い、河内地区の河内安正氏を承認しました。

固定資産評価委員は町長が選任し、議会が承認するものです。



河内安正氏 (河内)

任期は平成26年12月1日から平成29年11月30日までの3年間です。
前任者の藤野英明氏には長い期間のご苦労に心から感謝とお礼を申し上げます。

折原第2グラウンドがオープン



折原第2グラウンドが8月24日にオープン！
平成26年度中は無料開放します。
お問い合わせは建設課へ ☎73・1210

【税務課】

徴収率の向上は評価できるが、なお一層不公平感のない賦課徴収に努めること。

【企画観光課】

①観光6施設は、町民を交えた協力体制を構築し赤字解消に努めること。
②観光客誘致や受け入れ体制は、観光協会と連携し充実を図ること。

【総務課】

①時間外勤務は緊急災害時などを除き、職員の健康管理や経費削減に努めること。
②自主防災組織を強化し、防災意識の高揚に努めること。

【ときわ園】

安心・安全と生きがいのある施設づくりに努めるとともに、運営経費の削減を図ること。

【町民生活課】

①窓口業務は、親切丁寧に対応し、住民サービスの向上に努めること。
②合併浄化槽の維持管理費に、補助金の検討をすること。

【教育委員会】

①育英資金の滞納対策は、法的措置を取り早急な回収に努めること。

②伝統芸能や文化財保護は活動状況に応じ予算の増額を図ること。

【福祉保険課】

①円滑な窓口対応ができるよう職員全員の意識改革を図り、住民のサービス向上に努めること。
②災害時要援護者システムは消防防災係りと連携し、福祉の支援充実に努めること。

※災害時要援護者システム

自力で避難することが困難な高齢者や障害者を避難支援活動するためのシステム

【保健福祉総合センター】

①各種健診は受診率向上に努めること。
②福祉施設の建設にあたっては、ニーズ調査と十分な検討をすること。

以上の付帯意見は、各課の努力目標とし全職員に周知徹底を図るとともに、町政発展の実現化に向けて努めるよう強く要望しました。

「森林整備加速化・林業再生事業」

日本は国土
の7割が森林

の継続を求める



本町は、平成21年度において創設された「森林加速化・林業再生事業」を活用し、間伐や路網整備、高性能林業機械の導入、加工流通体制の整備、木造公共施設等の整備など進めている。

しかし、同事業は平成26年度終了することになっており、本町林業の成長産業化に向けた取組や経済活動の減速が懸念される。

国に対し、今後の予算編成に当たっては、基金事業である「森林整備加速化・林業再生事業」継続と、森林・林業の再生に必要な財源を確保するように強く要望する。

参議院の選挙区

慎重な選挙制度改革を求める

平成22年7月11日、最高裁判所は参議院選挙区選挙に関わる一票の格差に対して、違憲状態の判決を下した。

国会に設置された選挙制度協議会では、有権者の少ない選挙区は隣接府県と合区され、削減された議席を、有権者の多い都道府県選挙区に追加する案が示された。

地方自治体の実状や歴史的・文化的・地理的条件を考慮すれば、選挙区は都道府県を基本とする以外には考えられない。

①参議院選挙制度に当たっては、各都道府県単位の制度を堅持すること。
②参議院の担うべき役割について議論を行い、必要に応じて制度改革を行うこと。

内閣総理大臣

安倍晋三殿
他関係機関



地方切り捨てじゃ



温泉の運営は

【質疑】 毎年、温泉の改修工事のため、1ヶ月あまり休館している。今後の運営方針は。

【答弁】 本町人口からして町外からのお客さんを迎えきれない。経費を削減しながら工夫していきたい。



【質疑】 事業内容と見通しは。

【答弁】 ネットの普及により会社または個人事業者が増加傾向で事務所の形態はワーキングスペースと呼ばれるものになってきている。ひとりで事務所を借りると経費が掛かるので3〜4人で1軒を借りれば経費が低額ですむ。県の補助事業であり、空き店舗の活用が期待される。

地域力 磨き上げ 応援事業とは



電気自動車 急速充電器 の活用を

【質疑】 今までの充電器は4時間もかかっていたが今度の充電器は活用できるか。

【答弁】 がまだせ市場に設置し、30分で80%の充電が可能になり郡内で2台目となる。



定住環境 整備促進 支援事業とは



【質疑】 事業内容と実績は。

【答弁】 NPO法人「一滴の会」に移住定住の促進事業として、空き家を貸し出せるか町内169軒の調査を委託した。

平成26年3月までに5世帯11人が移住しており4・5・6月の3ヶ月の継続で新たに16組の移住者があった。

10月から来年3月までの事業継続の希望がある。

NPO法人「一滴の会」は空き屋調査・清掃・家主の方との交渉などを行い、移住定住希望者の受入体制を整えていくことを事業の一環にしています。空き屋を探しています。どのような物件でも構いません。

まずはご相談ください!

安心・安全な給配水を 簡易水道・下水道・上水道

特別会計

負担軽減に繋がる 事業を ・簡易水道事業決算・

【施設の状況】

この事業は26施設で運営され、給水人口5534人、年間配水量約65万立方メートル、有収率83%です。
給水人口、配水量、有収水量とも前年度と比べて減となっており、特に給水人口は114人の減で、人口減少が目立ちます。

【歳入】

総収入6459万円の主なものは、水道使用料4463万円、一般会計繰入金1483万円、繰越金258万円です。

【歳出】

6115万円の主なものは、負担金2909万円、人件費1135万円、工事請負費708万円、手数料466万円、積立基金250万円で歳出総額の89%を占めています。

主な事業は、上野地区簡易水道施設の水源地取

水口の増設、所尾野地区の導水管布設替など11事業871万円、24年度から実施しているモデル統合事業（天岩戸地区・河内地区）に2事業704万円で導水管布設替など、老朽化施設の整備に努めています。

委員会の意見

組合員の負担軽減と安定した水道水の供給に努められたことは評価に値するところであり、今後ともさらに負担軽減につながる事業の展開を要望します。

全員賛成で認定

使用料・負担金の 滞納は分割してでも ・下水道事業決算・

【施設の状況】

下水道施設は、接続対象人口4118人、接続人口3559人で接続率88・57%、宅内排水完成率は、供用開始区域画地件数1360件、完成件数1294件で91・69%、管路延長41・69キロメートルです。

【歳入】

決算額1億8759万円で前年度より1297万円の増となっており、主なものは使用料7368万円、一般会計繰入金



維持管理は大変じゃの～

9397万円、国・県補助764万円、受益者負担金228万円、繰越金935万円です。

【歳出】

決算額1億8064万円で前年度より1538万円の増です。

主なものは、公債費9702万円、施設管理費4211万円、総務管理費2439万円、下水道費1711万円となっており、差し引き695万円を翌年度へ繰り越します。

主な事業では、長寿命化対策として実施設計業



マンホールポンプの取替え

委員会の意見

使用料の未収や負担金の滞納については、解決に非常に努力されていることは十分理解できるが、十分な話し合いを持ち、分割してでも払っていただけるよう努力されることを要望します。

全員賛成で認定

使用料の未収・負担金の 滞納解決に努力を ・水道事業決算・

【施設の状況】

この事業は、給水人口6285人、前年度より19人の減、普及率99%、給水件数3200件、前年度より70件の減、年間配水量126万立方メートル、年間有収水量92万立方メートル、ともに前年度より減です。

【経営状況】

総収益1億5327万円（水道使用料未収金は過年度分を含め約490件、1139万円）となっており、前年度と比べて50万円の増です。

総費用は1億3516万円で前年度と比べ41万円の減となっていますが、収益から費用を差し引いた1810万円（税込み額）が収益となり、損益計算書（税抜き額）の純利益は1644万円です。

総収益のうち給水収益は、1億3360万円（前年度比378万円の減）

委員会の意見

事業総収益では前年度を上回っていますが、人口減少や少子高齢化などで給水収益が年々減少しており、今後の事業に大きな影響が出ることが予想されます。

長期的な見地と計画により余力を持った事業運営と、未収金については職員の努力は認めるところですが、使用料は主たる財源であり経営に及ぼす影響が大きいので、さらなる努力を望みます。

全員賛成で認定

研修・研究ができる 環境や体制づくりを ・条例の一部改正・

高千穂町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正で、

この手当は昭和60年から支給している手当であり、給与との重複支給の認識は全くなかったとのこと。

医師の確保のためと、都会から離れた地域で働く医師は、今こそインターネットなどの情報網が発達していますが、当時はまだそのような状況ではなく、医療研究や勉強の機会が少なく、出張以外自費で研修、勉強をされていた。

委員会の意見

医師の確保が大変難しい中、先生方に少しでも研修、研究ができるような環境や体制づくりを今後とも努力するよう要望します。

全員賛成で可決

町民のニーズに あった町道管理を ・建設課・

町道、松能橋田口野線のJA家畜市場の上から分岐した道路であり、幅員も全線4メートル以上となっています。

町区、神殿両公民館長及びJA組合長ほか、地権者を含め要望書が提出されており、路線名は田口野西線、延長164メートル



委員会の意見

少子高齢化、人口減少により年々町道の維持管理が難しくなっているが、町民のニーズに合った維持管理にさらに努力をされるよう要望します。

全員賛成で可決

医療費が増加 準備金は減少 基金から6,000万円繰入

国保

国民健康保険特別会計
決算は、世帯数2318
戸、被保険者4146人
歳入総額20億5463万
円、歳出総額20億071
2万円です。
歳出の主なものは、保
険給付費が12億7322
万円、後期高齢者支援金
2億1424万円、共同
事業拠出金2億6768
万円などです。
収入未済額は現年度1
462万円、滞納繰越
分は3534万円、合計
4996万円で前年度よ
り11万円減です。

【財政状況】
4751万円の当期剰
余金を出し26年度へ繰越
していますが、国保準備
積立金は、2億8424

万円で25年度は6000
万円の基金を取り崩し、
実質収支は8331万円
の赤字決算です。
一人当たりの給付額
は、35万8794円前年
度比1・01%の増で、一
人当たりの医療費は36万
8995円で前年度比
1・7%の増となり、医
療費の削減が早急な課題
です。

委員会の意見

国保準備積立金は、2
億8424万円で年々減
少しており、26年度には
8000万円の基金取り
崩しを予定しています。
国保特別会計はますま
す厳しくなると予想され
ます。

今後は一般会計からの
繰入も考慮して、基金残
高の確保に努め、保健福
祉総合センターや町立病
院と連携し、健康管理指
導の徹底や啓発促進の強
化を図り、健康づくりの
推進と予防医療に、努力
することを要望します。

全員賛成で認定

介護保険特別会計
保険事業勘定では、歳
入決算額13億2257万
円に対し歳出決算額は12
億7084万円で、51
73万円を26年度に繰越
します。
主な歳出は保険給付費
として居宅介護サービス
給付金、3億6562万
円、施設介護サービス給
付費、5億3302万円、
地域密着型介護サービス
給付費7832万円など
です。

介護保険特別会計

委員会の意見

介護を必要とする高齢
者は年々増加傾向にあ
り、重病化、長期化する
ことが予想されます。

住み慣れた地域でいつ
までも元気で暮らせるよ
う、介護に対する不安を
除き、施設や多様なサー
ビスの充実化を図ること
と、民間業者と行政が、
連携を取り地域の現状に
対応していくことを要望
します。

全員賛成で認定



社協デイサービス

町立病院

純損失が減少

【診療体制】

常勤医師が外科3人、
内科4人（1人は病休）
整形外科2人、小児科1
人の合計10人です。

職員、臨時、派遣職員
合わせて196人の体制
で安定的な診療に努めて
います。

【診療実績】

外来患者数は9万34
07人（1日平均384
人）で昨年比5462人
5・5%の減です。

入院患者数は3万04
88人（1日平均83・5
人）となり昨年比173
9人5・4%の減で病床
利用率は69・6%です。

事業収益は19億774
0万円、事業費用は20億
0241円であり、準損
失2501万円と昨年比
7319万円の減とな
り、評価できる結果とな
りました。

【要因について】

入院、外来患者とも患
者数が減少したのに対し
て、収益が増加したのは、
内科医が3人になり診療
体制が安定したことや、
理学療法士の2人増員
と、新規施設基準の取得
があり、診療報酬の増加
によるものです。

委員会の意見

当病院は24時間体制を
実施、患者の受入を行い
救急病院として機能を発
揮しています。

27年度より、西臼杵3
町で消防常備化に伴い、
救急患者受け入れ増が予
想され、医師、看護師の
負担増が懸念されます。

西臼杵郡の中核病院・
唯一の救急病院として患
者を受け入れるために
は、医師の絶対数が足り

なく医師の確保が不可欠
です。

泌尿器科・眼科医師確
保に努め、住民より信頼
され、安心して診療を受
ける体制に取り組み、
地域の福祉の向上と医療
サービスに努めるよう要
望します。

全員賛成で認定



「子ども・子育て支援法」条例制定



天岩戸保育園

「子ども・子育て支援
新制度」の導入により、
市町村の条例で定めま
す。

制度は、24年度に公布
された「子ども・子育て
支援法」、その他関連す
る法律の整備法などの、
子ども・子育て関連3法
に基づいて、保護者が子

育てについて第一義的責
任を有する、基本認識の
下に、教育・保育の量の
向上を図るものです。

その財源には消費税が
10%になった際の増収分
を見込んでいたため、27
年4月から本格施行の予
定です。

全員賛成で可決



馬原英治議員

第1子から就学支援金を

町長 検討すべき時期に来ている

問 平成18年3月31日施行の『高千穂町子育て支援金』条例により、町内の第2子に5万円、第3子に10万円が出生時、小・中学校就学時にそれぞれ支給されている。

町民の子育て生活の環境変化や所得格差があり、第1子からの小・中学校就学時にも支給する必要性があるのではないか。

町長 町では規定に基づき支給している。

本町の平成20年から平成24年の平均出生率1・90人であり、全国平均の1・38人を上回っている。町内にも、子ども一人世帯が相当数あり、第1子からの支給も検討すべき時期に来ている。

高千穂の将来を担う子ども達の健やかな成長支援が、行政の重要な責務



もうすぐ一年生

一般質問 しんから聞くばい!!

問 少子高齢化の進

行と農林業の衰退が大きく懸念される中、今後の取り組みと行政改革について4点問う。

①「天岩戸・田原へき地保育園」保護者のニーズの多様化、サービス向上や財政的な面から、民営化や指定管理者制度の導入は。

町長 「子ども・子育て支援制度」が、来年度から施行されることと保育士の採用を予定していることから当面は、町直営で運営する。

問 ②「ときわ園」は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる施設である。

今後の運営費削減、サービスの向上を目的に民営化の方向性は。

町長 ② 公営・民営のメリット・デメリットを十分考慮し、利用



工藤博志議員

町政方針について

町長 町民の『安心・安全』第一



者の『安心・安全』を第一に検討する。

問 ③窓口利用者が減少している3出張所の費用対効果や、出張所サービスの是非も含めて、統廃合を検討する時期ではないか。

町長 ③ 交通手段のない高齢者や、地区公連から根強い出張所存続の要望もあることから、

問 ④『農林業の振興・支援』として、集落営農の組織化と6次産業の支援策や農地の集約化対策は。

非常勤職員の配置とし業務縮小して存続する。

町長 ④「人・農地プラン」事業の中で対応するとともに、要望があれば、町単独事業を検討する。



飯干清喜議員

ラジオの電波状況改善を

町長 広域的な要望をしていく

問 本町ではNHKラジオが聞きづらい地域が多く、走行中の車も同様である。

緊急災害時のラジオからの情報収集は、非常に重要であることから、町として国・県そしてNHKに電波状況の改善を要望しては。

町長 光ケーブル加入世帯では、お知らせ端末よりNHK放送など3局が聞ける。

東九州道では、「ラジオ再放送設備」で、ほぼ全てのトンネルでラジオが聞くことが出来る。

ラジオ放送は、災害時などにおける貴重な情報源の一つであるが、中継

局設置となれば、多額の費用が必要となり見通しは厳しい。

西臼杵3町で広域的にNHKに要望をしたい。

町有財産の管理徹底を

町長 管理基準の策定を行う

問 廃校の備品などが有効活用されているが、処分の情報案内や価格設定など管理基準が不十分ではないか。

町長 住民などから払い下げの要望があった場合に、地元の活性化協議会と協議し処分対象としている。

価格は、耐用年数を考慮し、申し込み者が複数の場合は競争入札・競売とし、町民・町内法人などを優先している。管理基準の策定も早急に行う。



奈須克喜議員

再生エネルギーとの調和

町長 景観の保護に取り組む

問 ②棚田の田園風景を交えた、自然景観保護も必要では。

町長 ② 昭和47年制定の『高千穂町自然保護条例』には、現在10地区が指定されている

が、棚田などの田園風景は含まれていない。条例を改正し、棚田のある地区の指定やメガソーラー建設の規制について検討する。



調和していけるかの？

暮らしの 御用聞き



暮らしの御用聞きとはどのようなグループですか。

下川登公民館を拠点に活動しております。

地域の女性部や退職した人、民生委員さんなどを中心としたグループです。

どのような思いで立ち上げられたのでしょうか。

庭の草引きや買い物、病院の送迎など、高齢のため不自由な生活をされている方々に、少しでも手助けができればとの思いから始めました。

活動内容は。

定期的な訪問活動や女性部の方々の協力を得て一日サービスなどを行います。

また、看護師の資格を持った会員がいますので、血圧測定、薬の飲み方、眠れない時の過ごし方などの健康相談、食事の仕方などのアドバイスもしています。



頑張ってます!!



血圧はどうかの～

今後の抱負を教えてください。

ボランティア活動は継続するのがなかなか大変ですが、これからも皆さんに気軽に利用していただきたいと思っています。

そして高千穂に生まれて、住んでよかったと、実感できる町づくりに貢献できるよう、息の長い活動をしていきたいと思っています。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は11月25日開会予定です。

傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL73-1219

(議会事務局直通)

編集後記

八月、九月と雨ばかりのお天気に、お日様が恋しくなります。

実りの秋は、高千穂の山々が美しく輝き、訪れる人を魅了します。

議会報も、町民と議会をつなぐ広報誌として、魅力ある紙面づくりに努力してまいります。

季節の変わり目は体調をくずしがちです。皆様くれぐれも、お体をご自愛ください。

(S・N)

発行責任者

議長 佐藤 定信

議会報編集委員会

委員長	工藤 博志
副委員長	本願 和茂
委員	富高 友子
委員	坂本 弘明
委員	佐藤 久生
委員	中島 早苗